



じょうほう 織部

大東高校PTA会報

平成27年度

第1号

10月1日発行
PTA広報委員会



第68回 織部祭

せい しょう なごん

斉笑和む

～夏は終り 織部祭はさらなり～



夢高くして足地にあり ～ The sky is the limit ～

PTA会長 錦織 真澄

8月19日から3日間開催された第65回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会に参加させていただきました。

未来圏からの風をつかめ！

～新時代を担う君たちと共に～

をテーマにした大会では、岩手の特色を活かした発表が進みました。

基調講演では、岩手県出身で芝浦工業大学学長の村上雅人先生が、ご自身の研究された超電導工学を中心に「夢高くして足地にあり～THE SKY IS THE LIMIT～」と題して、3つの興味深い話が聴かれました。

その3つとは、「楽しむ・遊ぶ」「多様性」「夢」について。

1つ目の「楽しむ・遊ぶ」ことは、仕事に対して関係無いように感じますが、如何に遊んだ事が研究に活かされて巾を持たせてくれたか。力士をはじめ、様々な人を超電導で浮かせたエピソード

を交えて聴きました。

2つ目の「多様性」は、ご自身のアメリカ留学の経験から、多様性を経験する大切さをお話しいただきました。

今の時代はネットワーク社会になって、世界中の様々な情報が手に入りますが、それはあくまでもモノクロの濃淡の違いでしか無く、先生が体感され人生の礎になった留学の経験はカラーの違い程の多様性があり、今でも沢山の海外交流があるそうです。

3つ目の「夢」は、「夢もいいが、現実をしっかり見つめなさい」と諭すことも多い中、自分のいる現実、広い宇宙の中の小さな地球の中の小さな日本のこの場所ではない。「夢こそが人生を宇宙にまで広げ人生を豊かにします」とお話ししてくださいました。

現実の世界である物作りの先生から「夢」のお話が聴ける、興味深い時間でした。

百年の節目に向けて

校長 今井 靖

保護者の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃より大東高校の教育活動ならびにPTA活動に対してご支援とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。また、各委員会において様々な活動を計画いただき、取り組んでいただいておりますことに、感謝を申し上げます。

学校として、生徒が安心、安全に活動できるように取り組んでいますが、どうしても様々な場面で保護者の皆様にご支援をいただかなければなりません。保護者の皆様にご協力いただいていることとして、8月23日に大東地区の保護者の皆さんに校庭の草刈りを行っていただきました。暑い中をグラウンドと周辺の法面の草を刈っていただき、気持ちよく体育祭を行うことができました。また、学園祭では、総務委員会の皆さんにカレーライスの販売を行っていただきました。好評で、生徒の長蛇の列ができていました。このように学校

の行事に係わっていただくことは、保護者の皆様にご生徒の日頃の様子を知っていただく良い機会にもなっていると思っております。

ところで、今年のPTA活動では、検討を重ねてきた地区PTAの開催について、大きく変更をいたしました。PTA大会の後に地区会を行い、必要に応じて各地区で会を催していただくようにしました。PTA大会や地区会にたくさんの保護者の皆様が出席されることで、PTAの活動が活性化すると考えておりますので、ぜひ積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、平成30年に大東高校は創立百周年を迎えます。実行委員会を中心にいろいろな事業を計画しておりますが、保護者の皆様にもご協力をお願いするようになります。百年という大きな節目ですので、大東高校に関わりのある皆様のご協力、盛大に百周年を祝いたいと考えております。どうぞご協力をお願いいたします。

総務

委員会活動報告

委員長 狩野 一衛

平成27年度の総務委員会として織部祭（8月27日）で模擬店を出店し、「カレーライスと飲み物の提供」を行いました。

活動内容は、以前から「毎年の恒例行事」と聞いていましたので、是非、今回も実施したいと思い、7月22日に開催しました第1回総務委員会での検討をはじめとして、食材の購入計画、調理用品のレンタル手配など準備をすすめました。

当日は、早速カレーの調理、炊飯、ジュース類の販売準備にとりかかり、「レクリエーション活動や調理がとても得意な」多数の皆様を中心に、てきぱきと提供の準備をすすめていただきました。11時過ぎ頃には試食もすませ、配膳に移ることができました。

販売場所の中庭へ運んで行くと、もう大勢の生徒さんが長い行列をつくって待っていてくださり、「はたしてどれくらい食べてもらえるだろうか」と心配していましたが、どんどん受け取りに來てもらえました。

食材購入、ジュース類準備ともほぼ過不足無く、進行も計画した予定の時間どおりで、このように好評の中で提供を終えることができました。

平日にもかかわらず朝から集合していただき、調理や炊飯、運搬、配膳、販売、片付けに協力していただいた先生、総務委員の皆様には大変感謝しています。

生徒さんをはじめ大勢の皆様「おいしかった」と言ってもらい、笑顔を見ることができ、とても有意義な活動ができたと思えました。嬉しい気持ちで終了しました。



広報

活動報告

委員長 宮川 功

広報委員会では、今年度も昨年同様にPTA会報「じょうほう織部」を発行することとしております。

今回の第1号では、天候にも何とか見放されずに実施できた織部祭での活動の様子をメインに、今年度前半で特に話題をさらった野球部と、地域とのコラボを行っている生活科学部の活動の様子を特集しています。

ご存知のように、なんとといっても野球部の活躍は、今年度前半の一番の話題ではないかと思えます。私自身も初めてTVくぎ付けで観戦していました。結果はあと僅か一步というところでしたが、大東高校の卒業生も含め地元にも多くの感動を与えてくれまし

育成

活動状況およびご報告

委員長 青木 誠

大東高校PTAの皆様には、日頃より育成委員活動にご協力いただきまして有難うございます。今年度第一回育成委員会は多数の方々にご出席頂き、7月6日に開催致しました。

報告事項の内容として、学校より県総体ならびに学期末テストを終え、夏休みを挟んで秋の織部祭に向けて準備が進められていくこと。その他、学校内での学習、進路講演会、生徒指導や生活状況についてご報告いただきました。

また委員より各地区の状況等についての報告のなかで、本年6月1日から改正された自転車乗車ルールの安全啓発のさらなる必要性、現在ですら社会問題となっている、高校生を取り巻く携帯機器によるトラブルの多発化への懸念や利用時間、利用法についてどのように取り組んでいるかの意見交換も行いました。各ご家庭でわずかな時間でも、学校生活について話し合う機会を持っていただくと良いと考えます。

研修

研修部からのご案内

委員長 野村 泰道

日、米、韓サミット 開催

日時 平成27年12月20日(日) 10時～12時
場所 大東高校 調理室、家庭科室
参加者 韓国代表 ジェジンさん(国際交流員)
米国代表 ダニエルさん(国際交流員)
日本代表 PTAの皆さん、
雲南市役所の皆さん
内容 第1部 お国自慢の料理を作ろう！
第2部 食べながら語ろう！

※エプロン、箸、持ち帰り用容器ご持参ください。※お酒は出ません(笑)

た。その盛り上がりは改めてすごいと感じ、他県にいる知り合い(卒業生)からも、試合を重ねるごとに試合結果が気になるとメールがきていました。今後も更に期待したいと思います。

一方で生活科学部の活動では、この活動によって地域社会等との自由な交流を通じて課題を発見し、自ら解決に導く姿勢や能力を育ててほしいと感じました。

この「じょうほう織部」によって、織部祭を始め、生徒の活動をいろんな都合で見に行けなかった方に、特にご覧いただくとともに、あわせて、高校の活動を知る上での一助としていただければと思います。



部活動探訪 “この部活動に注目!!”

部活動がとても盛んな大東高校において、今、最も旬な部活動をピックアップしてお届けする特別企画です。もちろんどの部活動も日々の活動に励んでいるわけですが、その中から2つの部活動を取り上げてみたいと思います。今号で紹介するのは、硬式野球部と生活科学部です。

野球部

『出逢いは夢のはじまり』

不思議な縁により出逢いを頂いた選手達に、いつも初めに送る言葉です。そして今年も3年生の夏が終わりました。彼らの夢への挑戦の日々は、毎日が試練で、苦しく、せつないものだったと思います。しかし、最後の夏、それぞれの使命感を帯びた凛々しい戦い様は、大きな成長を実感させてくれました。

今年も甲子園という夢を叶えてやることはできませんでしたが、彼らの人生は始まったばかりです。人生は出逢いと別れ、終わりと始まり、そして喜びと悲しみの連続です。母校で培った心、そして戦い抜いた魂は、必ず今後の大きな糧となると思います。逞しく生き抜いてほしいと思います。

最後になりましたが、この夏も多大なる応援をくださった全ての皆様に、心から感謝を申し上げます。本当に有難うございました。選手達も私たちも次なる夢に向け、叶うまで挑戦し続けますので、今後とも応援の程、宜しく願いいたします。



生活科学部

9月2日の山陰中央新報で紹介されたので、ご存知の方も多いのではないかと思います。「第3回ご当地グルメ甲子園」において「豆腐でヘルシー！ロコモコ風おにぎらず」（写真参照）が、特別賞を受賞いたしました（2年松浦有紗、宮川美沙紀、1年杉原知佳）。最優秀賞こそのがしたものの、事実上の2位獲得です。



また、現在進行中のビッグプロジェクトがあります。その名も

うなんスイーツの杜プロジェクト

このプロジェクトへの大東高校の参加が現在進行中なのです。このプロジェクトは、雲南市内の老舗菓子店の方々が協力して、地元の食材を使用したスイーツの開発を目指すもので、雲南を代表するスイーツ「杜のズコット」もこのプロジェクトからうまれました。

そもそもことのおこりは、3月に開催した大東高校文化部合同フェスティバルで、ご来場者の皆様に日ごろの感謝をこめお配りした桜クッキーです（食べられた方はラッキー！）。このクッキーが雲南市役所産業推進課の方の目にとまり、プロジェクト参加の運びとなりました。

6月からスタートした打ち合わせ会では、菓子店や市役所、商工会の担当者の方とともに、役割分担や商品コンセプトなどを話し合っています。大東高校の役割は、桜クッキーのレシピを提供すること、商品のネーミングやパッケージを考えることになりました。当初は「サクラサク」から受験生を

対象とした「合格祈願クッキー」を考えていましたが、もう少し対象を広げ、スポーツする人、新社会人、新入生、出産する人など、「応援したい人にメッセージを添えて贈る商品」というコンセプトにたどり着きました。現在、6次産業化アドバイザーの清水早苗先生から、マーケティングの基礎を学び、商品化に向けての指導、助言をいただきながら、ネーミングやパッケージ製作を進めているところです。どんな商品ができるのか、ご期待ください。



第68回 織部祭
PTA模擬店



織部祭 総集編



第68回 織部祭

